随意契約（相手方指定）調書

件名	高齢者福祉システムガバメントクラウド移行及び連携機能改修業務委託	No.5200542
工（納）期	令和8年3月31日	
契約締結日	令和7年6月2日	
契約金額	29,684,050円（消費税込み）	

契約相手方	富士通Japan株式会社 東京公共ビジネス統括部 (法人番号：5010001006767)	
相手方指定理由	別紙に記載のとおり。	
備考		

業者選定理由書

件名	高齢者福祉システムガバメントクラウド移行及び連携機能改修業務委託
指名業者(案)	名称 富士通Japan株式会社 東京公共ビジネス統括部 所在地 東京都大田区新蒲田1-17-25 代表者 統括部長 高橋 章史
特命理由	<p>本件は、障がい者福祉システムの標準化に伴い、障がい者福祉システムのサーバに相乗りする形で稼働している高齢者福祉システムについて、ガバメントクラウド移行や連携機能改修に必要な作業を委託するものである。</p> <p>主管課からは、契約締結請求にあたり、部の機種・業者選定委員会の了承を得たうえで、上記業者を契約の相手方としたい旨の依頼があった。</p> <p>経理課として検討したところ、</p> <p>①高齢者福祉システムは、標準化対象外であるが、標準化対象の障がい者福祉システムのサーバに相乗りする形で稼働しており、令和7年3月に障がい者福祉システムが稼働環境をデータセンターからガバメントクラウドへ移行したため、高齢者福祉システムについても稼働環境をガバメントクラウドに移行し、連携機能を標準化システムに合わせた仕様に改修が必要となった。</p> <p>②上記業者は、パッケージシステムが持つプログラム等の著作権を保持していることから、他の事業者による実施は不可能である。</p> <p>以上の理由から、上記業者を相手方に指定した随意契約を締結する。</p>
その他特記事項	○根拠規定:地方自治法施行令第167条の2第1項第2号 (性質又は目的が競争入札に適さないもの)